

お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができること



1 保護者の理解と見守りが、お子様を守ります。

インターネットは、世界中の様々な情報を調べることができる便利なものです。近年は、学校教育でも利用され、**青少年にとって欠かせない存在**となっています。

しかし、インターネットの利用によって、不適切な表現や画像など、**青少年の健全な成長に悪い影響を与える情報**にも、触れる可能性があります。コミュニティサイトの利用などにより、**友達同士のトラブルや事件・事故に巻き込まれる**こともあります。例えば、いたずらのつもりでも、安易に犯行予告などを行えば、**犯罪の加害者側になる**こともあり、行為によっては**罰せられる場合**もあります。

このようなリスクを減らして、安全・安心なインターネット利用環境を実現するため、「**青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律**（青少年インターネット環境整備法）」が施行されています。

青少年がインターネットを適切に利用できるようになるため、**保護者がインターネットの特徴を理解し、青少年を見守ることが大切**です。

● 保護者ができる3つのポイント

発達段階に応じて、

- (1) 適切にインターネットを利用させる
- (2) 家庭のルールを作る
- (3) フィルタリングなどを設定する



お子様の将来のために

インターネットを「**使いこなす力**」は、これからの社会で必要不可欠です。交通安全ルールと同じように、自分自身を守りながら、賢く有効に使わせましょう。

そのためには、**お子様の成長に合わせて**、インターネットに関する知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力をそれぞれ身に付けさせることが大切です。

◎お子様にインターネットを利用させる際の保護者の責務が規定されています。

青少年インターネット環境整備法第6条において、**保護者は、青少年のインターネット利用の状況を適切に把握するとともに、利用を適切に管理し、適切に活用する能力の習得の促進に努めることとされています**。お子様の将来のため、保護者の役割をこのリーフレットで再確認してみましょう。

2 お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

- ☐ お子様にどのような**機器**を持たせていますか？ **どのようにインターネットを利用させていますか？**
- ☐ お子様がどのような**場所・環境**で、どのような**サービス**を利用しているかご存知ですか？ 例えば、街なかの**無線LAN回線 (Wi-Fiなど)**を利用することはありますか？
- ☐ **保護者の目が届かない場合でも、親子で話し合っ**てルールを決めていますか？ **フィルタリング**などを設定していますか？

☒ チェックを入れて確認してみましょう。

近年、スマートフォンをはじめ、インターネットに接続できる機器が増えています。例えば、**携帯音楽プレイヤーでもスマートフォンと同じようなサービスやアプリを利用できる機器**があります。



スマートフォン



従来型の携帯電話



機能制限携帯電話



パソコン



ゲーム機



タブレット型携帯端末



携帯音楽プレイヤー

インターネットに接続できる機種もあります

- ☐ 上記のような**モバイル端末の普及**により、**お子様のインターネットの使い方が急激に変化**しています。メール、ゲーム、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、チャットや掲示板（特に書き込み）、交流サイト（特に知らない人）、ゲームやアプリでの課金など、**保護者が気づいていない使い方をしていませんか？**

□ コミュニケーションアプリの利用

無料通話やグループでのメッセージが利用できるコミュニケーションアプリが急速に普及しています。複数で利用できることからトラブルも発生しています。また、見知らぬ人との出会いにつながる可能性がある「**IDの取得**」には注意が必要です。

□ 歩きスマホ、ながら操作

スマートフォンなど、モバイル端末が普及し、**車の通る道路や駅のホームで歩きながら、自転車に乗りながら**、端末を操作する人が増えています。意識が画面に集中することで視界も狭くなり、他人やモノにぶつかり、**大怪我をしたり、怪我をおわせたりするような事故も**増えていることから注意が必要です。

□ 店舗などでの無線LAN回線 (Wi-Fiなど) の利用

近年、**コンビニや公共施設**などで、無線LAN回線 (Wi-Fiなど) を無料提供する場所が増えています。**遊びに出た先で利用している可能性**もありますので、無線LAN回線 (Wi-Fiなど) でも安全に使えるように親子で工夫しましょう。【3-(3)-Bを参照】

□ いわゆるネット依存

モバイル端末は、いつでもどこでもインターネットを利用できるため、**意識せずに長時間利用する人が増えています**。

お子様がインターネットを使わないと不安になったり、イライラしたりという様子を感じたら、怒って追い込むのは逆効果。**親子のコミュニケーションを増やしなが**ら見守りましょう。